

1,3-ブタジエン等・C4H6

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<ul style="list-style-type: none"> ○適切な呼吸器保護具（陽圧式自給式空気呼吸器）、保温用手袋、適切な眼の保護具（安全ゴーグル）、適切な保護衣（耐火服、耐火工具、安全靴）を着用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○吸入した場合…空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医療機関に連絡する。 ○皮膚に付着した場合…凍傷の場合、多量の水で洗い流し、衣服は脱がせない。医療機関に連絡する。 ○眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること。 ○飲み込んだ場合…水で口をすすぎ、医師の診断、手当を受けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ○装置の密閉化、又は防爆タイプの局所排気装置を設置する。 ○使用前に使用説明書を入力すること。 ○すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ○熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざける。 ○粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。 ○あらゆる接触を避ける。 ○（妊娠中の）女性へのばく露を避ける。 ○容器は丁寧に取扱い、取り付け作業等では漏えいに注意する。 ○使用後は、バルブを完全に閉め、口金キャップを取り付け、保護キャップをつける。 ○屋外又は、換気の良い場所でのみ使用すること。 ○取り扱い後にはよく手を洗うこと。 ○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> ○強い眼刺激（発赤、痛み、かすみ眼） ○呼吸器への刺激のおそれ ○眠気又はめまいのおそれ ○遺伝性疾患の恐れ ○発がんのおそれ ○生殖能又は胎児への悪影響のおそれ ○長期にわたる、又は反復ばく露による生殖器（女性）の障害 ○長期にわたる、又は反復ばく露による心臓、血液系、肝臓の障害のおそれ ○吸入…咳、咽頭痛、めまい、頭痛、し眠、かすみ眼、吐き気、意識喪失 ○皮膚…液体に触れた場合に凍傷する